

本カタログに掲載している製品内容は、部品としての品質範囲です。この部品を使用した最終製品の機能・性能・安全を保証するものではありません。



片引きドア 200PD



扉厚	29～45mm
扉質量	136kg以下 (扉1枚当たり) ※ ¹
製品仕様	1 枚扉仕様 (天井付け)

※¹ 扉サイズは扉質量を優先して決めてください。

大型のポケット扉に最適な引戸金物。

■特 長

- johnsonシリーズの中で、比較的重量タイプの扉に使用できる木扉用引戸金物です。
- 扉を脱着する際、ワンタッチでローラーを取り外せます。
- 上ローラーは扉の高さ、傾きを調節できる機能付です。

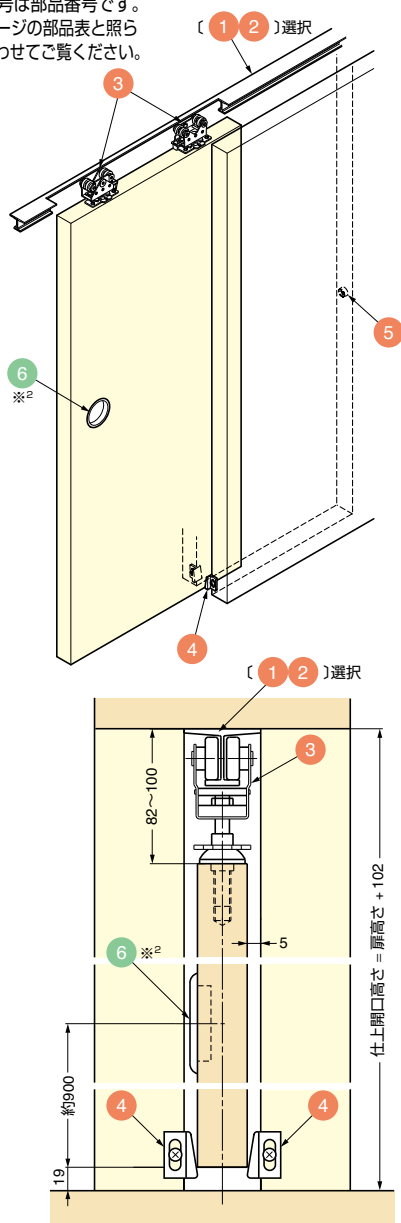
■注 意

- 扉開閉時の衝撃に耐えられ、扉質量に対応できる強度を持った枠に取り付けてください。強度のない枠は扉の動きを著しく低下させるばかりでなく、上レール①②の脱落などを引き起こすことも考えられ、大変危険です。
- 戸先が3方枠の縦枠に当たらない仕様の場合は、別途縦枠が戸当りを必ずご用意ください。
- 上レールは、必要な長さに切断し、切り粉などが上レール内部に残らないようきれいに除去してください。扉の静かな走行のために切り粉の清掃は重要です。



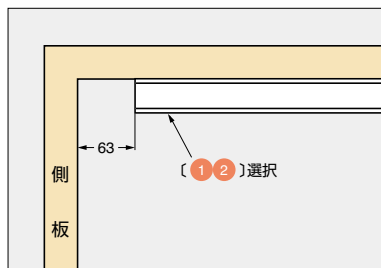
■納まり寸法例

丸番号は部品番号です。右ページの部品表と照らし合わせてご覧ください。



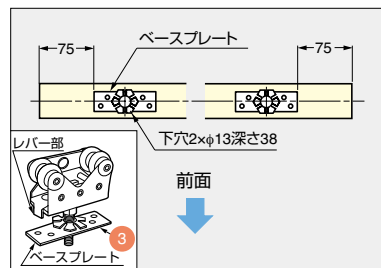
※² 扉収納時には、面位置より3mmほど扉を引き込むため、戸引手⑥、握込取手YK-W100 (No.200カタログ、1/3巻、P.68) またはYK-70 (No.200カタログ、1/3巻、P.68) などを用いてください。

■上レール①②の取り付け



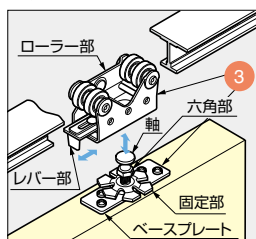
上ローラー③が取り外せるよう側枠から63mm空けてください。

■ベースプレートの取り付け



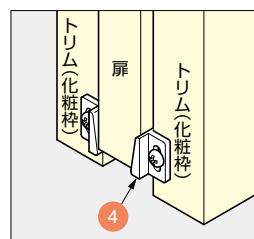
上ローラー③はあらかじめレバー部を引きベースプレートを外し、上レール①②に通しておきます。ベースプレートは図のように扉の木口から75mmの位置に取り付けます。

■扉の吊り込み



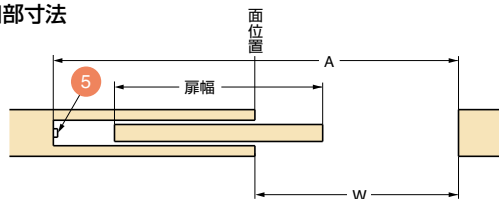
図のように扉に取り付けたベースプレートの軸を上ローラー③のローラー部にしっかり差し込みます。最後にレバー部を押し込みます。建て付けの調整はスパナでピボットの六角部を回し、最後に下の固定部を回し固定します。

■ドアガイド④の取り付け



ドアガイド④は取付位置を上下にずらして、扉とのすき間を調整できます。扉下端の仕上材の両側に取り付け、扉が軽く動き、がたが小さくなるよう調整してください。

■開口部寸法



$A = \text{扉幅} \times 2 - 12.5\text{mm}$
仕上開口寸法 $W = \text{扉幅} - 25\text{mm}$

輸入品のため、製品改良などにより予告なく寸法や材料の仕様変更を行う場合があります。念のため、現品にてご確認ください。